



「強く 聡く 美しく」

第1号 —知性・感性・品性のある横中生を目指して—

学校だより 平成31年4月26日
宇都宮市立横川中学校長 矢口 真一

今年度、横川中学校の校長として3年目を迎えました。本校は創立72周年を迎え、昭和から平成、そしてこれから始まる「令和」の時代へと、さらに歴史を積み重ねていきます。一方、私自身は校長として、職責を果たしながら、より良い学校づくりに励んでまいります。

今年度、本校は、生徒数が621名（1年209名、2年198名、3年214名）となり、600名を超える多くの生徒が学ぶ学校となりました。本校教職員は、生徒一人一人のもてる力を伸ばし、十分に発揮させられるよう、熱意と愛情をもち、「すべては生徒のために」一丸となって日々の教育活動に邁進してまいります。保護者や地域の皆様には、今後とも本校の教育活動へご理解とご支援をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

横中は
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

ご入学、おめでとうございます

4月9日（火）、多くのご来賓の皆様のご臨席を賜り、入学式を挙行

しました。新入生の保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。今年度は209名の新入生を迎え、在校生・教職員一同、とても喜んでおります。新入生は、本校の制服に身を包み、小学校とは違った雰囲気、少し緊張した様子でしたが、立派な態度で式に臨みました。校長式辞では、本校の生徒指標「強く 聡く 美しく」と基本目標「自立と貢献」を体现するために、「進んで学ぶ」「自分でよく考え、判断し、行動する」「早寝・早起きをし、しっかりと食事をする」「思いやりの心をもつ」ことなどを話しました。また、新入生代表があいさつし、中学校生活への期待や決意を述べました。入学式後に行われた生徒会主催の対面式では、生徒会長と新入生代表がそれぞれあいさつを述べました。新入生には、これから、生徒指標と基本目標を常に心にとめ、2・3年生を手本としながら、3年間の中学校生活で様々なことを学び経験し、将来の自己実現のための基礎をしっかりと築いてほしいと思います。

The sky is the limit.

—可能性は、無限だ—



学校経営の理念

本校では、生徒指標「強く 聡く 美しく」及び基本目標「自立と貢献」を掲げております。それは、中学校生活において、様々な学びを深めながら、心身ともにたくましく、確かな学力を身に付け、感謝や思いやりの心をもち、一人一人が自立し、他へ貢献できる生徒となること、さらには、将来、一人一人が社会的自立を果たし、社会貢献できる人材となることを願っているからです。そこで、本校教職員は、様々な教育活動において生徒一人一人のよさや強みを認めてほめて伸ばす指導を行い、教職員としての資質向上に励み、保護者や地域と協働しながら、信頼される学校づくりに一層邁進してまいります。本校生徒が、3年間の学びを通して、「知性」「感性」「品性」を身に付け、高めていくことを期待しています。

社会総ぐるみによる人づくりの「合言葉」 宇都宮市・宇都宮市教育委員会

『育もう 地域の愛で 子どもの未来』～大人が子どもの手本となり、みんなで人間力を高めます。～

転・退職及び転入職員紹介

今回の定期人事異動により、下記のとおり、18名の教職員が転・退職し、19名が転入となりました。どうぞよろしくお願いいたします。

<退職者・転出者及び転出先>

・教諭	退職	・教諭	宇都宮市立雀宮中学校
・教諭	退職	・講師	// 泉が丘中学校
・教諭	退職	・講師	// 国本中学校
・教諭	宇都宮市立星が丘中学校	・学力向上非常勤講師	ご退職
・教諭	// 上河内中学校	・学力向上非常勤講師	宇都宮市立泉が丘中学校
・教諭	// 陽南中学校	・学校栄養士	ご退職
・教諭	// 陽北中学校	・メンタルサポーター	宇都宮市立清原中学校
・教諭	// 泉が丘中学校	・初任者研修指導教諭	ご退職
・教諭	宇都宮市教育委員会	・ALT	宇都宮市立雀宮中学校

<転入者及び前任校等>

・副校長	宇都宮市立陽西中学校	・講師	新規採用
・教諭	// 陽南中学校	・講師	宇都宮市立国本中学校
・教諭	// 鬼怒中学校	・講師	// 古里中学校
・教諭	// 陽南中学校	・学力向上非常勤講師	// 雀宮中学校
・教諭	// 陽南中学校	・学校栄養士	// 一条中学校
・教諭	// 田原中学校	・教諭(初任研)	// 河内中学校
・教諭	// 旭中学校	・教諭(初任研)	// 国本中学校
・教諭	新規採用	・メンタルサポーター	新規採用
・教諭	新規採用	・ALT	宇都宮市立旭中学校
・教諭	// 古里中学校		

竜巻を想定した避難訓練

4月19日(金)、避難訓練を実施しました。竜巻が発生し、その後、校舎内から火災が発生したという想定で行いました。はじめに、竜巻から身を守るため、カーテンを閉め、生徒全員の机を窓際にピタリと寄せ、各自机の下に身を隠しました。窓際に机を寄せるのは、ガラスが割れた際、破片が机の上を通過して、危険性が軽減されるからです。その後、生徒は校庭への避難を開始しました。それぞれが各避難経路を通り、静かに整然と避難することができました。実際に竜巻が起きた際も、冷静な対応を図っていきます。



オープンスクール(土曜授業・PTA総会)

4月20日(土)、授業参観、PTA総会、学級懇談を行いました。授業参観では、保護者の皆様に生徒が真剣に授業に取り組む姿を見ていただきました。PTA総会では、校長からの学校経営方針説明、新役員の選出等が行われました。今後は、PTA会長様の下、本校の教育活動にご支援いただくことになります。PTA役員の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。一方、これまでご尽力いただいた旧役員の皆様には心より感謝申し上げます。学級懇談では、担任から今年度の学級経営方針について説明しました。今年度も、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。



通学時の並進等に、危機感をもっています！

今年度、本校では、600名を超える生徒が自転車を利用して通学しています。一方、地域内には交通が激しい道路が多いため、生徒には安全に注意して自分の命をしっかりと守るよう指導しているところです。特に、一昨年度からは「並進撲滅運動」を展開し、一定の成果を上げてきたところではありました。

しかしながら、春休み以降、並進をしたり、ヘルメットをかぶらなかつたりして指導を受け、一定期間、徒歩通学となった生徒が、とても多い状況です。4月12日(金)には交通安全教室を実施し、警察の方からもご指導受け、命を守るためにルールを守ることなどを再確認しました。しかし、週明け15日(月)の朝、自動車通勤の方から「横川中の生徒は、自転車で2列や3列で走っていたり、一時停止しなかつたりして、非常に危険である。学校ではどのように指導しているのか」と、お叱りの電話をいただきました。

昨年、栃木県内では、交通事故により4日に1人の割合で命が失われました。また、最近では東池袋や神戸・三宮、木更津において横断歩道を渡っていたにもかかわらず、車にはねられて命を失ってしまった人たちがいます。被害にあった方々の無念さと悲しさに胸が張り裂ける思いです。ルールを守っていても事故に巻き込まれてしまう。一方、ルールを守らないことは言語道断であり、自分の命を軽視しているといふ言いようがありません。命に関わるようなことに巻き込まれてから気付くのでは遅すぎるのです。

本校では、今後も、これまでもどおり「生徒の命を守ることを最優先に考えて、厳しく指導するとともに啓発を行ってまいりますので、ご家庭でも同様の指導・啓発をお願いいたします。